陳情第１４号

排泄に課題を抱える障害者（児）に対し、日常生活用具へ排泄予測支援機器の追加認定を求める陳情書

（陳情要旨）

令和６年３月の障害保健福祉関係主管課長会議資料「日常生活用具給付等事業の適正な実施について」には、「日常生活用具給付等事業については事業費が年々増加傾向にあり、今後も安定した事業運営を行うためには、各市町村において効果的・効率的な事業実施が図られる必要がある。各市町村においては、平成１８年の障害者自立支援法以前に国が定めた基準額や実施方法にとらわれることなく、定期的に当事者の意見を聴取によるニーズ把握や実勢価格の調査等、地域の実情に即した、適切な種目や基準額となるよう定期的な見直しに努められたい。」と記載があります。これに基づき、排泄予測支援機器を千葉県流山市において、日常生活用具として追加認定いただきたく存じます。

「ＤＦｒｅｅ」は超音波センサーにより膀胱を経時的にモニタリングし、膀胱内の尿の溜まり具合を０～１０で数値化する機器です。その数値は専用タブレットや自身のスマートフォンで確認でき、排尿のタイミングを予測し、排尿の機会を本人または介助を行う者に通知が可能です。我が家では、５歳の身体障害者手帳１級を持つ子供がおります。通知が鳴ったタイミングで本人と一緒にトイレへ行くという習慣で活用しています。尿の溜まり具合が数値化されることで、漏らす前にトイレ誘導が可能、漏らしたとしても傾向値が見え対策が取れるようになり、本人にとっても介助者にとっても、排尿課題へ解決の兆しが見えています。

このように、尿意を感じることができない障害者にとって「ＤＦｒｅｅ」は非常に有用です。

（陳情項目）

１　尿意の意思表示ができない、もしくは曖昧にしか感じることができない障害者の排尿課題を解決するため、排泄予測支援機器「ＤＦｒｅｅ」を千葉県流山市の日常生活用具として追加認定いただきたいです。「ＤＦｒｅｅ」は令和４年４月に特定福祉用具に認定され、介護保険適用となっています。ぜひ障害者にも負担が少なく購入できるようになることを求め、上記事項を陳情いたします。

令和７年７月２８日

陳情者

[redacted]

流山市議会議長　石原　修治　様